

# 日本道德教育学会第 100 回記念（2022 年度秋季）大会プログラム

日本道德教育学会会長

永田 繁雄

第 100 回記念大会運営委員長

貝塚 茂樹

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、本学会第 100 回記念（2022 年度秋季）大会を武蔵野大学で開催させていただき運びとなりました。新型コロナウイルスの感染状況も不安定な時期ですが、本大会は 3 年ぶりに対面を基本とした開催となります。

## 大会テーマ

### 持続可能な社会を実現するために道德教育に何ができるか —日本道德教育学会が果たすべき未来への使命と役割—

#### ■大会テーマ設定の趣旨

2021（令和 3）年 1 月の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」と明記されました。持続可能な社会の実現は、道德教育が目指すべき目的の一つであると同時に、本学会が積極的に取り組むべき重要な課題であると思います。

本学会は、1951（昭和 26）年に道德教育研究会として発足し、1957（昭和 32）年に日本道德教育学会と改称され、約 70 年の歴史を刻むことで第 100 回記念大会という節目を迎えました。新たな歴史を切り拓き、持続可能な社会を実現するために道德教育には何ができるのか。そのために本学会が果たすべき使命と役割は何かについて、学会の歩みを振り返りつつ会員の皆様と真摯に考え、議論したいと思います。

#### 【大会概要】

- 開催日：2022（令和 4）年 11 月 19 日（土）・20 日（日）
- 会場：武蔵野大学・武蔵野キャンパス（対面形式で実施。一部はオンラインでも実施）  
\*自由研究発表、ラウンドテーブル及び祝賀会は対面の実施となります。  
開会式・閉会式、記念講演、提言、特別講演、シンポジウムは対面及びオンラインで実施します。
- 主催：日本道德教育学会
- 後援：文部科学省（申請中）、東京都教育委員会（申請中）、全国小学校道德教育研究会、全日本中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
- 参加費：会員・一般参加・オンライン参加：3,500 円／学部学生：2,000 円  
祝賀会参加費（会員のみ）：8,500 円／お弁当代：1 日 1,000 円（2 日 2,000 円）  
\*オンライン参加の場合は、自由研究発表、ラウンドテーブルは参加できません。
- 参加申込み：日本道德教育学会のホームページから大会ページ（<http://jsme100kai.com>）にお入りいただき、大会ページの「参加申込み」から peatix でお申し込みください。申込方法の詳細は 10 頁に記載しています。

参加申込み期限（参加費納入期限）は 10 月 31 日（月）になりますのでご注意ください。

7 大会事務局：武蔵野大学 藤田 祐介（大会事務局長）

〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20 Tel/Fax 042-468-3335

E-mail:jsme100kai@gmail.com

※問い合わせは原則としてE-mail をお願い致します。

## 大会日程

2022年11月19日（土）		
9:00～	受付	【6号館・雪頂講堂1F】
10:00～11:40	自由研究発表① (昼食)	【8号館2・3階】
12:20～	<パイプオルガン演奏>	【雪頂講堂】
12:30～13:15	開会式・来賓祝辞	【雪頂講堂】
13:15～14:15	【記念講演：永田繁雄（日本道德教育学会会長）】 演題：次世代を拓く「日本型道德教育」への課題と展望	【雪頂講堂】
14:20～15:20	提言：「次世代」を担う研究者・実践者からの提言 (江島顕一、門脇大輔、佐々木篤史、星美由紀、醍醐身奈)	【雪頂講堂】
15:30～17:00	ラウンドテーブル	【8号館2・3階】
18:30～20:30	第100回記念大会祝賀会 *会員のみ参加可 (中野サンプラザ11F・ブロッサムルーム)	
2022年11月20日（日）		
8:30～	受付	【6号館・雪頂講堂1F】
9:00～11:15	自由研究発表② (昼食)	【8号館2・3階】
12:30～13:30	【特別講演：一ノ瀬正樹（日本哲学会会長・武蔵野大学教授）】 演題：哲学倫理学と道德教育のはざま	【雪頂講堂】
13:40～16:00	シンポジウム テーマ： 「持続可能な社会を実現するために道德教育に何ができるか —日本道德教育学会が果たすべき未来への使命と役割—」 コーディネーター：西野 真由美（国立教育政策研究所） シンポジスト：荒木 寿友（立命館大学） 柴原 弘志（京都産業大学） 走井 洋一（東京家政大学） 森 有希（高知大学）	【雪頂講堂】
16:00～16:15	閉会式	【雪頂講堂】

【2022年11月19日（土）】 会場：8号館2・3階

■自由研究発表①（10：00～11：40 発表20分・質疑応答10分）

**第1分科会** 司会：飯塚 秀彦（国立教育政策研究所）

【8201 教室】

- 10:00～10:30 坂口幸恵（東京都江戸川区教育委員会学校教育支援センター）  
現代的な課題に取り組む道徳科の事例研究  
～ヤングケアラーを扱った家族愛の実践～
- 10:35～11:05 山本理恵（東金市立東中学校）  
道徳科における「宿題」  
—事前の「宿題」からつながる授業—
- 11:10～11:40 町田晃大（足立区立古千谷小学校）  
哲学対話を取り入れた道徳授業の効果  
—児童の思考の「深さ」に着目して—

**第2分科会** 司会：平野 良明（札幌国際大学）

【8202 教室】

- 10:00～10:30 北川航平（西東京市立青嵐中学校）  
特別な支援を要する生徒のための教材開発に関する提言  
～特別支援学級における道徳科授業の実践報告による～
- 10:35～11:05 大藏純子（名古屋経営短期大学）  
特別支援学級における道徳授業Ⅱ  
～教材と中心発問について～
- 11:10～11:40 横山 愛（目白大学）  
保育士が考える乳幼児期の道徳心の芽生えについての一考察

**第3分科会** 司会：柳沼 良太（岐阜大学）

【8203 教室】

- 10:00～10:30 寺崎賢一（都留文科大学・非）  
『手品師』の教材分析とねらい  
—カント道徳の実践例—
- 10:35～11:05 鈴木 宏（上智大学）  
学習指導要領の中のカント  
—「主として自分自身に関すること」で何を教えるのか—
- 11:10～11:40 加藤立樹（深谷市立川本中学校）  
エーリッヒ・フロムの「人間疎外」論を手掛かりとした価値物象化に関する試論  
—教育人間学から見た価値の内面化を考える—

**第4分科会** 司会：浅見 哲也（国立教育政策研究所）

【8301 教室】

- 10:00～10:30 野村宏行（国分寺市教育委員会）  
道徳科の教科用図書に付された発問の分析
- 10:35～11:05 中野真悟（刈谷市立朝日小学校）  
教科書におけるカリキュラム編成に関する一考察
- 11:10～11:40 橋本唯隆（教育研究家）  
先生の質が授業の質を決める  
—質とは？イジメ、不登校撲滅の為の授業を問う—

**第5分科会** 司会：渡邊 真魚（日本大学）

【8302 教室】

- 10:00～10:30 松原好広（松本大学）・立田康德（目黒区立駒場小学校）  
子ども一人一人が問いをもつ道徳科授業の一考察  
～再現構成法の活用を通して～
- 10:35～11:05 鈴木明雄（麗澤大学）  
道徳的諸価値を統合して道徳的価値観を創造する学習指導過程の在り方  
～A I テキストマイニング分析による価値観の統合の一考察～
- 11:10～11:40 木野正一郎（東京医療保健大学）  
「考え、議論する道徳」の学習指導案を構想する教員養成課程の取組  
—道徳性の三側面形成 を図るためのアクティブ・ラーニングを設計する観点から—

**第6分科会** 司会：東風 安生（横浜商科大学）

【8303 教室】

- 10:00～10:30 須崎 大（一般社団法人マナーニ）  
生命尊重の道徳教育をリアルに学ぶ  
～犬とのふれあいによる子どもの確かな変容～
- 10:35～11:05 田中無量（武蔵野大学附属千代田高等学院）  
持続可能な社会の実現に向けた道徳教育における「カルト対策教育」論
- 11:10～11:40 瀬戸山千穂（前橋市立大胡中学校）  
自然愛護における小・中学校の学びの系統と授業づくりにおける視点の提案

**第7分科会** 司会：秋山 博正（岡山理科大学）

【8304 教室】

- 10:00～10:30 緒賀正浩（明星大学・非）  
新出史料によって判明した 1948 年 6 月 19 日参議院教育勅語失効確認決議成立の初期政治過程  
について
- 10:35～11:05 板橋雅則（明治学院大学）  
学校の教育活動全体を通じた道徳教育に関する史的考察
- 11:10～11:40 服部圭祐（神戸医療未来大学・非）  
日本における「中等道徳教育」の理論的基礎  
—明治・大正期の「教育」観の変遷から—

**第8分科会** 司会：中野 啓明（新潟青陵大学）

【8305 教室】

- 10:00～10:30 齋藤嘉則（東京学芸大学）  
「善」と「悪」の判断
- 10:35～11:05 平岡秀美（國學院大學栃木短期大学）  
ドイツの倫理授業教材における初等教育段階から中等教育段階への接続の試みと課題  
—教科書“Leben leben”を手がかりに—
- 11:10～11:40 堀内 翼（安曇野市立三郷中学校）  
森信三～「無」の思想から教師論へ～

【2022年11月20日（日）】 会場：8号館2・3階

■自由研究発表②（9：00～11：15 発表20分・質疑応答10分）

**第9分科会** 司会：杉中 康平（四天王寺大学）

【8201 教室】

- 9:00～ 9:30 藤井裕喜（京都市立下京中学校）  
心に響く自作資料を創る
- 9:35～10:05 阪本景子（東海市立名和中学校）  
道徳授業の新しい在り方
- 10:10～10:40 由良健一（尼崎市立潮小学校）  
事前学習を基にした道徳科授業
- 10:45～11:15 白木みどり（金沢工業大学）  
「特別の教科 道徳」の使命と役割についての一考察

**第10分科会** 司会：田沼 茂紀（國學院大學）

【8202 教室】

- 9:00～ 9:30 猪岡養子（横手市立朝倉小学校）  
エージェンシーを発揮する子ども
- 9:35～10:05 柴田八重子（愛知淑徳大学・非）  
エージェンシーと道徳的価値観創造  
～スキル、コンピテンシー、アート教育に着目して～
- 10:10～10:40 高口 涼（富士市立広見小学校）  
エージェンシーの発揮と道徳の授業実践の検討  
～よりよい学校生活、集団生活を中心に～
- 10:45～11:15 谷口雄一（摂南大学教職支援センター）  
児童生徒の問題意識と道徳科における主体的な学び

**第11分科会** 司会：醍醐 身奈（慶應義塾大学 SFC 研究所）

【8203 教室】

- 9:00～ 9:30 安井政樹（札幌国際大学）  
道徳科における GIGA スクール環境を生かした個別最適な学び
- 9:35～10:05 鈴木賢一（あま市立七宝小学校）  
道徳授業において1人1台端末を使った方が良い場面とそうでない場面を見極めるポイントはどこか
- 10:10～10:40 増田千晴（犬山市立犬山中学校）  
教師同士が協働する道徳授業  
～道徳教育推進教師が支援するべきこと～
- 10:45～11:15 朴 孝烈（泉大津市立東陽中学校）  
ローテーション道徳に代わるものとして  
～T T方式による教材理解・児童生徒理解

**第12分科会** 司会：土田 雄一（千葉大学）

【8301 教室】

- 9:00～ 9:30 山平恵太（熊本大学教育学部附属小学校）  
道徳科授業における自分事の学びの在り方  
～なりたい自分ノートの活用を通して～
- 9:35～10:05 山田貞二（岐阜聖徳学園大学）  
道徳性曲線を活用した教材分析と授業づくり
- 10:10～10:40 奥山裕太（札幌市立向陵中学校）  
道徳科の推進
- 10:45～11:15 北川沙織（名古屋市立小坂小学校）  
役割演技を通して考える道徳授業  
～「よく視て、よく聴いて、そしてよく考える」授業展開を取り入れることの効果について～

**第13分科会** 司会：富岡 栄（麗澤大学）

【8302 教室】

- 9:00～ 9:30 高野明秀（深谷市立八基小学校）  
地域教材を活用した道徳教育の充実を目指して
- 9:35～10:05 高木一範（海津市立石津小学校）  
道徳科のカリキュラムマネジメント  
～郷土愛を育成するためのゲストティーチャーを活用した地域教材の開発を通して～
- 10:10～10:40 木下美紀（福津市立勝浦小学校）  
道徳科における言語活動の充実についての一考察  
～「心と心のあく手」を中心的教材として～
- 10:45～11:15 磯部光泰（富津市立富津小学校）  
合意する道徳科の授業  
一熟議型道徳の開発と実践を通して一

**第14分科会** 司会：澤田 浩一（國學院大學）

【8303 教室】

- 9:00～ 9:30 高原 健（札幌市立信濃中学校）  
畏敬の念を扱った読み物教材作成への一考
- 9:35～10:05 尾池良一（相生学院高等学校明石校）  
命と生きること
- 10:10～10:40 松原 弘（和泉市立郷荘中学校）  
「人間の魅力」から偉人を扱った教材を考える  
～「命のトランジットビザ（杉原千畝）」の実践～
- 10:45～11:15 佐々木哲哉（岩手大学・招聘講師）  
カントの道徳思想における「畏敬の念」の研究  
～「天上に輝くあの星と私の内なる道徳法則」を中心にして～

**第15分科会** 司会：関根 明伸（国士舘大学）

【8304 教室】

- 9:00～ 9:30 張 夢溪（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科研究生）  
日中の道徳科における公德心教育の比較研究  
—日本の「公德心」と中国の「社会公德」の考察を中心に—
- 9:35～10:05 山田美香（名古屋市立大学）  
中国の労働に関する教育と道徳  
—義務教育課程方案（2022年版）と課程標準から—
- 10:10～10:40 萩野奈幹（兵庫県立教育研修所）  
道徳教育における問題解決学習に関する一考察  
—デューイ哲学の経験と思考に基づく道徳理論に着目して—
- 10:45～11:15 浅部航太（北海道立教育研究所）  
道徳科教育研究における質的研究の在り方に関する一考察

**第16分科会** 司会：島 恒生（畿央大学）

【8305 教室】

- 9:00～ 9:30 丸岡慎弥（立命館小学校）  
道徳科は探究学習においてどのような役割を果たすのか  
～水の探究における道徳科の役割を考える～
- 9:35～10:05 藤永啓吾（やまぐち総合教育支援センター）  
探究のサイクルを取り入れた道徳科授業づくり
- 10:10～10:40 椋木香子（宮崎大学）・中村亜紀（宮崎市立東大宮中学校）  
対話を通して生徒の考えを深める道徳科の発問に関する研究
- 10:45～11:15 及川仁美（盛岡市立厨川中学校）  
社会につなげる道徳科授業づくり  
～子どもの「問い」と対話を軸として～

**第17分科会** 司会：和井内 良樹（宇都宮大学）

【8306 教室】

- 9:00～ 9:30 那倉康知（淡路市教育委員会）  
深い学びのための発問のあり方の考察（その2）
- 9:35～10:05 広中忠昭（麗澤大学大学院・客）  
新しい未来を切り拓く道徳教育のためにできること  
～子供が学び取る道徳授業への転換～
- 10:10～10:40 安東祐介（熊野町教育委員会）  
中学校における異学年合同道徳授業が生徒にもたらすもの  
—自由記述による感想文の分析から—
- 10:45～11:15 田村敏郎（鹿児島県大島郡伊仙町立鹿浦小学校）  
各教科等との関連を図った道徳科の授業づくりについて

**第18分科会** 司会：宮嶋 秀光（名城大学）

【8307 教室】

- 9:00～ 9:30 足立佳菜（佐賀大学）  
道徳授業「不成立」要因の検討
- 9:35～10:05 天野幸輔（名古屋学院大学）  
道徳科と発達支持的生徒指導における関連の検討  
—生徒指導提要「性に関する課題」から考察する具体案—
- 10:10～10:40 平 真由子（金沢工業大学）  
大学生の将来展望における小中学校の道徳科の授業の影響

【11月19日（土）】会場：8号館2・3階

■ラウンドテーブル（15：30～17：00）

\*各分科会の趣旨、所属表記等については提出された企画案に基づき、大会事務局で適宜、編集しています。

○第1部会：エージェンシーを育むための道德教育の可能性 【8201 教室】

趣旨：道德教育において生徒のエージェンシーをどのように育てていくことができるのか、その具体的方略も含めて議論を深め、道德教育の可能性を探る。

企画者・司会：荒木寿友（立命館大学）

報告者：野本玲子（神戸医療未来大学）、猪岡養子（横手市立朝倉小学校）

谷口雄一（摂南大学）、高口涼（富士市立広見小学校）、柴田八重子（愛知淑徳大学）

指定討論者：荒木寿友（同前）

○第2部会：考え、議論する道德科の授業の要件とは？ 【8202 教室】

趣旨：「考え、議論する道德」を実現するための試みについて、一切のタブーを排して率直に意見交流し、参加者それぞれの抱く道德科のイメージの共通理解可能な部分を見出す。

企画者：木原一彰（鳥取市立大正小学校）・木下美紀（福津市立勝浦小学校）

司会：木原一彰（同前）

報告者：町田晃大（足立区立古千谷小学校）、藤永啓吾（やまぐち総合教育支援センター）

○第3部会：伝統と文化の尊重を涵養する道德教育 【8203 教室】

趣旨：理論研究に基づき、日本の伝統文化の再確認や郷土愛の心情の涵養を、どのように道德授業実践に活用するのか等について議論し、ネットワークの構築を図る。

企画者：小泉博明（文京学院大学）

司会：圓山賢吾（前目黒区立鷹番小学校）

報告者：東風安生（横浜商科大学）、大館昭彦（流山市立北部中学校）、小泉博明（同前）

指定討論者：稲田和浩（脚本家、文京学院大学・非）

○第4部会：感知融合の道德教育 【8301 教室】

—SDGs・well-beingを「常若・志道和幸」教育として実践する試み—

趣旨：「感知融合の道德教育」の「感じる」「気づく」「見つめる」「深める」「対話する」「協働し働きかける」の6つの視点から実践報告を行う。

企画者・司会：高橋史朗（麗澤大学）

報告者：早田保美（川崎市立久本小学校）、山崎敏哉（世田谷区立山崎小学校）、及川直人（八街市立朝陽小学校）、道場俊平（合同会社行學道）、古城奈々（北九州市立北方小学校）

指定討論者：渡邊尚久（船橋市立船橋小学校）、山川洋一（元長崎市立西北小学校）

- 第5部会：道徳教育の理論研究と実践研究をつなぐ 【8302 教室】  
趣旨：道徳教育に関する理論研究と実践研究を接続するとともに、道徳教育の理論に関する研究者と道徳授業の実践家の間のネットワークの構築を図る。  
企画者・司会：高宮正貴（大阪体育大学）  
報告者：緒賀正浩（明星大学・非）、瀬戸山千穂（前橋市立大胡中学校）  
佐々木篤史（弘前大学教育学部附属中学校）  
指定討論者：江島頭一（麗澤大学）
- 第6部会：評価をその後の指導に生かす 【8303 教室】  
趣旨：教師にとっての評価、つまり、道徳科で得られた評価をその後の道徳科指導の充実・改善にどのように生かしていくのかについて議論する。  
企画者・司会：富岡栄（麗澤大学）  
報告者：古見豪基（和光市立第五小学校）、鈴木賢一（あま市立七宝小学校）、及川仁美（盛岡市立厨川中学校）  
指定討論者：鈴木明雄（麗澤大学）
- 第7部会：ICTを活用した道徳科授業の現状と課題 【8304 教室】  
趣旨：特に今後の課題として道徳科授業においてICTをどのように活用していくべきかという視点から、参加者を交えての意見交換を行う。  
企画者・司会：中野啓明（新潟青陵大学）  
報告者：大竹直志（新潟市立小林小学校）、中野浩瑞（兵庫教育大学附属小学校）  
安井政樹（札幌国際大学）  
指定討論者：門脇大輔（立正大学）
- 第8部会：道徳科教育学の理論と指導法 【8305 教室】  
趣旨：小学校・中学校の道徳科教育学のあり方や理論的根拠を探究すると共に、道徳科の目標—内容—指導—評価の開発・改善に向けて、各学校現場の教員、及び大学研究者が報告し、議論を深める。  
企画者・司会：柳沼良太（岐阜大学）  
報告者：竹井秀文（名古屋市立楠小学校）、片山健治（岡山県立岡山大安寺中等教育学校）  
田沼茂紀（國學院大學）  
指定討論者：浅見哲也（国立教育政策研究所）、飯塚秀彦（国立教育政策研究所）
- 第9部会：食と道徳性、道徳教育 【8306 教室】  
趣旨：食に関する知見を道徳教育に取り入れる必要性を確認した上で、共に食べることによって結ばれる人同士のつながりや、食材生産者側の思いに焦点を当てた教材や授業展開例も示しながら対話を行う。  
企画者・司会：鍵水浩（育英大学）  
報告者：鎌田賢二（京都市立修学院小学校）、手塚貴子（育英大学・非、有限会社フルーヴ社長）  
指定討論者：植田清宏（園田学園女子大学・非）

## 大会への参加にあたって

### ○申込み方法・参加費納入方法：

・日本道德教育学会のホームページから大会ページ (<http://jsme100kai.com>) にお入りいただき、大会ページの「参加申込み」を押していただくと、peatix のイベントサイト (<https://jsme100kai.peatix.com>) に移動しますので、「チケットを申し込む」から大会参加費、弁当代（希望者のみ）、祝賀会参加費（会員希望者のみ）を納入してください。参加費の納入は、クレジットカード決済（オンライン決済、手数料無料）、コンビニ決済（220 円の手数料がかかります）、PayPal（銀行振込と表示されますが、PayPal 経由になりますので、PayPal のアカウントが必要です）が利用できます。なお、原則として申込みのキャンセル・返金はできませんので、ご注意ください。

・申込み締切は、10 月 31 日（月）です。大会当日での参加申込みはできません。コンビニ決済の場合は前日までしか申込みができませんので、ご注意ください。領収書は発表要旨集とともに当日、お渡し致します。オンライン参加の方には、大会当日までに要旨集とともに送付致します。

なお、大会ページ（peatix）での申込み・参加費等の納入がどうしても難しいという方は、大会事務局にご連絡ください。

○大会受付： 受付は 6 号館・雪頂講堂 1 階です。場所は、11 頁のキャンパスマップをご確認ください。

○各会場について： 開会式、記念講演、提言、特別講演、シンポジウム、閉会式はメイン会場である 6 号館・雪頂講堂で行います。自由研究発表及びラウンドテーブルの会場は 8 号館 2・3 階の教室です。場所は、11 頁のキャンパスマップをご確認ください。

○ラウンドテーブルについて： 各部会のテーマ等については 8～9 頁をご参照ください。

○オンラインでの参加について： 本大会でのオンライン配信（自由研究発表・ラウンドテーブルは対面のみでオンライン配信はありません）は Zoom を利用します。Zoom へのアクセス情報等につきましては、別途、11 月上旬にオンライン参加者の方にお知らせする予定です。

○昼食（弁当）のお申し込みについて： 大会開催中、学内の食堂は営業していません。また、大学周辺には飲食店やコンビニもあまりございませんので、お弁当等の持参か事前予約をおすすめします。大会事務局では事前予約制でお弁当の準備をいたします（1 食 1,000 円・お茶付き）。ご希望の方は、参加申込み時に大会参加費と同時に弁当代を納入してください（事前予約なしでの当日の弁当販売はできません）。

○第 100 回記念大会祝賀会について： 祝賀会は会員の方のみ参加できます。祝賀会参加費は 8,500 円になりますので、大会参加費と同時に納入してください。会場は中野サンプラザ（JR 中野駅北口徒歩約 3 分。<https://www.sunplaza.jp/access/>）です。武蔵野キャンパスから中野サンプラザまでの所要時間は約 40 分です。なお、会場の人数制限の関係で、ご出席のご希望に沿えない場合があります。この場合、事前に納入していただいた祝賀会参加費は、後日、該当の方に対して個別に連絡の上、返金させていただきます。

○自由研究発表及びラウンドテーブル（分科会）会場の設備について： 会場には Windows のパソコンを用意しています。発表者の方は USB メモリーをご持参ください。接続は RGB もしくは HDMI 接続になります。持ち込みパソコンの接続も可能ですが、変換アダプタが必要な方は各自でご用意ください。